

第9回

ビジネスの担い手
証券会社

執筆・講師 宮坂恵美子



学習のねらい

はじめに「間接金融」と「直接金融」について、その基本的なしくみを学びましょう。次に証券会社の業務を紹介します。証券会社の業務は、一般的にはよく知られていませんが、番組ではアニメーションでわかりやすく解説します。さらに、IT技術によってシステム化された証券取引所の様子も実際に見てみましょう。

調べておこう・覚えておこう

委託売買／直接／証券取引所

※空欄 を「調べてみよう・覚えておこう」の語句で完成させましょう。

👉 Point ① 間接金融と直接金融

企業が資金を調達するしくみには、普通銀行などの金融機関から借り入れる「間接金融」と、株式や社債などの発行による「直接金融」があります。

「間接金融」では、預金者から預かっているお金を金融機関の判断で企業に貸し出しますから、資金の提供者である預金者と貸出先の企業とは直接的な結びつきはありません。

これに対して「直接金融」では、資金の提供者である投資家が、どの企業の株式や社債などを購入するかを証券会社に直接指定しますので、投資家と資金提供を受ける企業は、直接的に結びつくことになります。

企業が資金を調達するしくみには「間接金融」と「 ① 金融」があります。

①は番組出題問題です。

👉 Point ② 証券会社の業務

「有価証券」とは、「株式」「社債」などのことをいいます。（株式は「株主としての地位」であり、社債は「社債権者としての地位」です）証券会社は有価証券に関する業務によって収益を得ています。



証券会社の主な業務は、次の4つです。

①委託売買業務（ブローカー業務）

証券会社の伝統的な業務で、顧客から有価証券の売買の注文を受けて証券取引所に取り次ぐ業務です。顧客から受け取る委託手数料が収益となります。証券取引所で有価証券の売買ができるのは、登録された証券会社だけです。

②自己売買業務（ディーリング業務）

証券会社が自己資金で有価証券を売買する業務です。つまり証券会社自身も投資家になるということです。この場合、有価証券売買益が証券会社の収益となります。

③引受業務（アンダーライティング業務）

企業や地方自治体などが有価証券を発行して資金を調達する際、証券会社はその全部または一部を引き受け、買い取って、その後、投資家に販売する業務です。引受手数料が収益となります。

④募集売り出し業務（セリング業務）

新たに有価証券が発行されるとき、発行した企業の委託を受けて行う募集・売り出し業務です。有価証券を発行した企業から受け取る委託手数料が収益となります。

顧客から有価証券の売買の注文を受けて、これを証券取引所に取り次ぐ証券会社の伝統的な業務を「業務」といいます。

②は番組出題問題です。

 Point ③ 証券取引所

投資家が安心して株式や社債などの売買ができるように、公平で公正な市場として設けられた施設を「」といいます。

③は番組出題問題です。

証券取引所は株式や社債など有価証券（金融商品）の売買取引が公正に行われるように設けられた施設で、東京・名古屋・札幌・福岡の4か所にあります。

番組では、東京日本橋の兜町にある株式会社東京証券取引所を訪ねます。証券取引所の心臓部・マーケットセンターでは、1日に多い時には1500万件以上の注文が入り、1日に6兆円以上の売買が成立することもあります。

以前の証券取引所は売買取引をする証券会社の社員であふれかえっていましたが、しかし現在、

